

第3表 けい牧地（ラジノクローバー）の栄養価値

	固形物	有機物	粗蛋白質	粗脂肪	可溶無窒素物	粗繊維
ラジノクローバーの組成	15.88%	—%	4.79%	0.86%	6.76%	2.03%
消化率	—	79	82	65	84	67
可消化養分	—	—	3.9	0.56	5.7	1.4

たが、なお一般泌乳曲線を描いたので、次年に更に濃厚飼料を無給与のけい牧期と、ケルネルの飼養標準を用いた従来の慣行飼料を一けい牧期に亘り、15日毎に反転飼養した結果、各牛ともけい牧期の泌乳量が多かった。けい牧3年目よりは1日平均乳量18~14kgを泌乳中の乳牛を濃厚飼料無給でけい牧したところ、各牛ともけい牧後1~2カ月の乳量は、けい牧開始時の乳量より増加したことにより、濃厚飼料の節約を可能にした。

脂肪率については各試験において、ほとんど変化が見られなかった。

飼養管理労力について同一牧草地にけい牧した場合

と、刈取りによる飼養法と労力を比較した場合、けい牧は約4分の1の労力で済んだ。

これまでにけい牧中に起きた大きな問題点として挙げられるものは牛にとっては鼓脹症であり、牧草地にとっては排糞跡に生ずる不食過繁地である。ラジノクローバーにより発生する鼓脹症は泡沫性鼓脹症で悪性であるが消泡剤の投与により略々治療法は完成した。また不食過繁地は排糞を地中に埋め込むことにより防止し、排糞反転による裸地はラジノクローバーの匍匐茎により数週間にして解消した。

## 廃用和牛の肥育について

染野 敏・吉田 稔・平沢六平

(福島県種畜場)

### 1. 目的

和牛の利用面の中、廃用牛の肥育経済的調査を行った。

### 2. 調査の方法

1. 供試牛は黒毛和種で第1表の通り。
2. 調査期間  
第1期 4月14日—6月3日  
第2期 6月4日—7月13日  
第3期 7月14日—8月13日
3. 飼料の配合と給与は第2表の通り。

### 3. 調査成績

1. 増体量  
供試各牛の増体率を比較すると第3表の通り。
2. 飼料の利用性と飼料費は第4表の通り。
3. 所要経費と経済性  
供試牛の出荷成績は第5表a及びbの通り。

### 4. 考察

1. 1号は増体量は最もよいが質が悪く、掛け値が安かった。
2. 2号は質がよく所要飼料費も安く、最も有利であ

第1表

番号	性	年令	産地	体重	購買価格	肉付度	産次
1	雌	11才	鳥取県	333kg	26,000円	5.5合	9産
2	"	4	福島県	307	28,000	4.5	1
3	"	7	"	347	35,000	6.5	3

った。

3. 3号は調査開始時から相当の肉付であったが、飼料の利用性が悪いため飼料費が多く、なお、素牛価格が高かったため利益が少なかった。

4. 供試牛の年令・個体差・素牛の値段と出荷市場の取引状況等は調査結果に大きな影響があるものと思われた。

第 2 表

期 別	区 分	濃 厚 飼 料						粗 飼 料			成 分			
		大 麦	麸	糠	大豆粕	デント粉	計	稲藁	野干草	青草	固形物	粗蛋白	澱粉価	総 量
第 1 期	配合割合	35	30	15	10	10	—	0.5	1.5	1.5	—	—	—	—
	量	490	420	210	140	140	1,400 <sup>g</sup>	—	—	—	3.164	0.236	1.449	3.585
	金額	1485	1050	462	546	140	3683	—	—	—	—	—	—	—
第 2 期	配合割合	45	25	10	10	10	—	0.4	1.0	3.0	—	—	—	—
	量	765	425	170	170	170	1,700 <sup>g</sup>	—	—	—	2.992	0.268	1.682	3.470
	金額	2295	1063	374	663	170	4565	—	—	—	—	—	—	—
第 3 期	配合割合	50	35	10	5	—	—	0.3	0.5	1.5	—	—	—	—
	量	1000	700	200	100	—	2,000 <sup>g</sup>	—	—	—	2.563	0.268	1.489	3.062
	金額	3000	1750	440	390	—	5,580	—	—	—	—	—	—	—

第 3 表

区 分	開 始 時	第 1 期末	第 2 期末	第 3 期末	増 体 量	1日平均増体量	増 体 率
1号	333 <sup>kg</sup>	407 <sup>kg</sup>	450 <sup>kg</sup>	477 <sup>kg</sup>	144 <sup>kg</sup>	1.200 <sup>kg</sup>	43.2 <sup>%</sup>
2	307	359	405	433	126	1.050	41.0
3	347	420	458	472	125	1.042	36.0

第 4 表

供 試 牛	1 kg 増 体 に 要 し た				飼 料 費				
	飼 料 量		成 分		濃 厚	濃 厚	粗飼料費	1日平均飼料費	全飼料費
	濃 厚	粗	可 消 化 粗 蛋 白	養 分 総 量	飼 料 費	飼 料 費			
1	4.942 <sup>kg</sup>	12.100 <sup>kg</sup>	0.762 <sup>kg</sup>	4.494 <sup>kg</sup>	13.688 <sup>円</sup>	19.712	7.550	22718	27262
2	4.494	12.854	0.723	4.170	13.011	16.394	6.864	19384	23258
3	5.820	13.297	0.887	5.299	16.651	20.814	7.396	23508	28210

第 5 表 a

番号	年令	生 体 重	屠 場 生 体 重	歩留り	枝肉	掛け目	価 格	概 評	
1	11	126.0 <sup>貫</sup>	118.3 <sup>貫</sup>	47.3	59.7 <sup>貫</sup>	100	59.700	脂肪帯黄色につき不良。 脂肪適量より僅かに多い、最良。 脂肪帯黄色、サンが少し認められる。	芝 浦
2	4	117.0	105.0	54.0	63.0	122.5	77.175		京 都
3	7	124.8	123.0	51.8	64.7	110.0	71.170		芝 浦

第 5 表 b

番 号	収 入	支 出			差引粗収入	摘 要
	販 売 価 格	素牛頼入費	飼 育 費	計		
1	59,700	26,000	26,267	53,262	6,438	芝 浦 屠 場
2	77,175	28,000	23,258	51,268	25,907	京 都 "
3	71,170	35,000	28,210	63,210	7,960	芝 浦 "
計	208,045	89,000	78,730	167,740	40,305	